

ICS レター



～板橋区コミュニティ・スクール(iCS) 地域とともにある学校をめざして～

発行元: 教育委員会事務局 地域教育力推進課 地域連携係 TEL3579-2619

今回の i C S レターでは、板橋区コミュニティ・スクール(i C S)の仕組みと、「MIRAI SCHOOL いたばし」を踏まえ、教育目標について熟議をした上板橋第四小学校 C S 委員会について紹介します。

板橋区コミュニティ・スクール(iCS)のイメージ

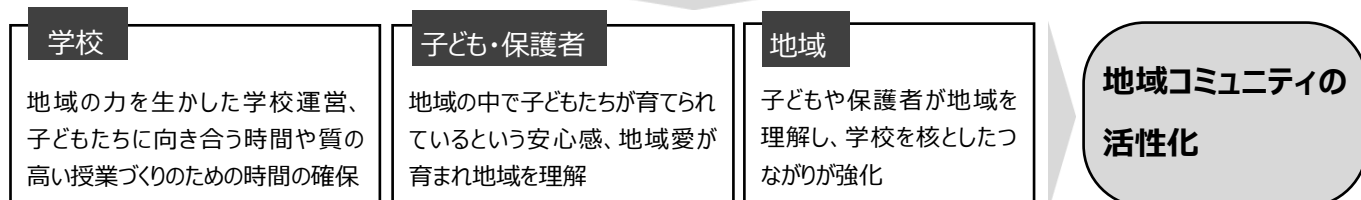
板橋区コミュニティ・スクール(i C S)は、「コミュニティ・スクール委員会(C S 委員会)」という保護者や地域の方が参画し、学校の運営や課題について話し合う会議体と、「学校支援地域本部」という教育活動を保護者や地域の方に支援していただく実働部隊が目的を共有し、一緒になって進むことで**地域とともにある学校**をめざしていくための仕組みです。i C Sは、下のイメージ図のように運営されています。



学校を支える地域人材・地域団体

【学校開放協定会、青少年健全育成地区委員会、民生・児童委員、おやじの会等】

iCSの仕組みを活用し、様々な取組を学校・家庭・地域が一体となって行うことで…



上板橋第四小学校CS委員会

上板橋第四小学校のCS委員会では、『MIRAI SCHOOL いたばし-教育ビジョン2035-』を踏まえた教育目標について熟議をしました。

MIRAI SCHOOL いたばし

「MIRAI SCHOOL いたばし」は、板橋区が2026年からの10年間でめざす、学びの未来像です。いたばし全体を学びのキャンパス(=SCHOOL)として、子どもから大人まで板橋区で暮らす誰もが、急速に変化・多様化していく時代に適應できる5つのチカラを育むことをめざします。

MIRAIという言葉に込められた、5つのチカラ

Motivation：自分らしく進むチカラ Inclusion：認め合って生きるチカラ Relation：つながり助け合うチカラ

Activation：自ら行動を起こすチカラ Innovation：ゼロから切り拓くチカラ

教育目標をテーマにした熟議の実施について、上板橋第四小学校 山藤知子校長先生にインタビューしました！



熟議をするにあたってご準備いただいた、「MIRAI SCHOOL いたばし」を踏まえた教育目標の改定案は、どのようなことをポイントに作成しましたか？

児童にとって、めざす姿がイメージしやすい文言とすることを意識しました。また、「MIRAI SCHOOL いたばし」の中で示されている5つのチカラが教育目標に含まれるよう考えました。



教育目標をテーマに、CS委員に熟議していただくうえで、工夫されたことがあれば教えてください。

なぜ教育目標を変更するのか必然性を感じられるように資料を提示し、説明をしたうえで熟議に入るようにしました。また、小グループでの話し合いとしたことで、意見を出しやすくしました。



熟議をとおして、CS委員から出た意見などで新たな発見や、気づきがあれば教えてください。

「たくましく生き抜く子」については、一人ひとりに合わせ自分らしく成長することを願った文言の方が望ましいというご意見を頂戴し、「しなやかにのびゆく子」に変更しました。次のCS委員会で再度提案し、承認を得ました。



完成した教育目標

○**自ら考え創り出す子**（予測困難な社会を生き抜くために、答えのない課題に向き合い、よりよい考えを生みだしていく子を育てる。）

○**認め合ってつながる子**（自分を大切にするとともに、それぞれの多様性も大切にし、互いに協力しながら、社会に貢献できる子を育てる。）

○**しなやかにのびゆく子**（変化に対応できる健康な体と柔軟な心を持ち、自分らしく生きるために前向きに努力する子を育てる。）

教育目標をテーマに熟議をすることによって、CS委員は教育目標の観点からも学校や子どもたちの様子を見守ることができます！